

羽田でサクラマス

本年の4月19日早朝、羽田空港東側でサクラマス(全長44.5cm、体重1,550g)が獲れました。羽田空港周辺での漁獲ははじめてです。

サクラマスは奥多摩等の溪流に生息するヤマメが海に下り、大型魚となった川に戻ってきたものです。

東京都のサクラマスは水質汚濁の進んだ1950年代後半から約40年間、姿を消していましたが、水質改善が進むと共に、少数ながら見られるようになってきました。

本協会では、1995年から約10年間、東京都水産試験場の協力を得て、毎年3,000尾ほどの稚魚を多摩川下流域に放流すると共に、サクラマスの捕獲調査を進めてきました。

現在まで、スズキ網により多い年で10尾ほどの漁獲がありますが、荒川河口周辺が中心で、今回の漁獲場所は初記録です。



サクラマス 全長44.5cm 体重1,550g